

研究データ管理・公開に関するQ&A

No.	グループ	質問	回答
1	データ管理	データマネジメントプラン (DMP) には何を書けばよいか? 提出の義務はあるのか?	<p>DMPの記載項目は、資金配分機関 (JSPS等) が決定することになっており、各資金配分機関の指定する様式があればそちらをご使用ください。提出についても各資金配分機関のルールに従ってください (大学への提出は不要です)。</p> <p>日本学術振興会 (JSPS) 科学研究費助成事業 https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/01_seido/10_datamanagement/</p> <p>科学技術振興機構 (JST) https://www.jst.go.jp/pr/intro/openscience/guideline_openscience_r4.pdf</p> <p>日本医療研究開発機構 (AMED) https://www.amed.go.jp/koubo/datamanagement.html</p>
2	データ管理	研究データの保存先はどこになるのか?	<p>研究データ管理基盤としてNIIが提供するGakuNin RDMが利用可能です。 https://rdm.nii.ac.jp/</p> <p>GakuNin RDMは個人の研究者または研究プロジェクトチーム間でのクローズドな研究データの管理や共有、外部ストレージやソフトウェアとの連携、メタデータの登録、研究データの証跡管理など、さまざまな機能を活用することができます。</p> <p>GakuNin RDMに関する問い合わせは以下メールアドレスまでご連絡ください。 <メールアドレス> rdm@gr.saitama-u.ac.jp</p>
3	データ管理	転出や退職後の研究データはどのように管理されるのか?	<p>埼玉大学研究データ等の保存等に関する指針 (平成27年7月6日学長裁定) に基づき、バックアップないしは追跡可能な状態としておく等の措置を講じられた保存すべき研究データについては、一定期間保存・管理を大学で行うものとします。</p>
4	データ管理	研究データを保存するための資料室の設置予定はあるのか?	現時点で予定はありません。
5	データ公開	すべての研究データを公開しなければならないのか?	<p>研究成果のオープン化を進める国際的な潮流からも、論文のエビデンスとしての研究データは原則公開 (※) とし、その他研究開発の成果としての研究データについても可能な範囲で公開することが望まれます。</p> <p>一方で、個人情報、企業の秘密情報、研究の新規性、安全保障等の観点から留意すべき研究データは非公開とする必要があります。</p> <p>これをふまえてDMPにおいて適切に公開/非公開を判断していただきますので、すべての研究データを公開しなければならない、という訳ではありません。</p> <p>※科研費等の競争的資金配分機関から課される公開義務については、図書館Webサイト「学術論文等の即時オープンアクセス義務化について」 (https://www.lib.saitama-u.ac.jp/?page_id=11175) をご覧ください。</p>
6	データ公開	研究データはどのように公開するのか?	<p>DMPにおいて「公開」対象とされたデータは、埼玉大学学術情報リポジトリSUCRA (https://sucra.repo.nii.ac.jp) に登録することで公開することができます。</p> <p>なお、研究成果をオープンアクセス論文として出版し付随データも電子ジャーナルで公開される場合にはリポジトリにデータを登録する必要はありません。</p>
7	その他	埼玉大学独自にデータアーキビスト等の研究データ関係の支援人材を設置する予定はあるか?	現時点で予定はありません。

研究データ管理・公開に関する用語集

No.	グループ	用語	解説
1	データ管理	研究データ	<p>本学の研究活動の過程で収集または生成された情報で、研究素材として収集または生成された一次データだけでなく、それらを分析・処理して作成された加工データや解析データ、それを生み出すに至った加工・解析ツール、研究データの説明資料やその取扱いに関わる手続きの情報、ライセンスや権利に関する情報、プログラムコードやその実行環境に関わる情報、研究課題等の関連資料全般を含むものとする。</p> <p>デジタル/非デジタルを問わず、数値、画像、テキスト、有体物など、あらゆる形態を含める。</p> <p>例えば、以下のようなものを含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測定データ ・写真 ・音声、映像等の視聴覚情報 ・実験ノート及びフィールドノート ・質問票 ・臨床データ <p>学外の研究者が、共同研究、施設利用、学術講演会、公開講座等、本学における研究活動を通して収集または作成したデータも含まれる。研究者等が、以前に在籍した機関で収集または生成した研究データであっても、本学在籍中にこれらを保持している場合には、研究データの対象となる。</p>
2	データ管理	管理対象データ	<p>研究データのうち、本学や資金配分機関の基準等（※）に基づいて、研究者が管理・利活用の対象として「公開・非公開・共有」の範囲を定めたデータ。</p> <p>管理対象データの範囲は以下に区分される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開データ（一般に任意の者に利活用可能な状態で供する研究データ） ・共有データ（アクセス権を付与された限定された者に利活用可能な状態で供する研究データ） ・非共有・非公開データ（公開も共有もしない研究データ） <p>（※）本学における管理対象データの判断基準の一つとして「埼玉大学研究データ等の保存等に関する指針（平成27年7月6日学長裁定）」第1条において以下のとおり定められている。</p> <p>（2）論文や報告等、研究成果発表のもととなった研究資料（文書、数値データ、画像など）は、後日の利用・検証に堪えるよう適正な形で保存しなければならない。保存に際しては、後日の利用・参照が可能となるようにメタデータの整備や検索可能性・追跡可能性の担保に留意しなければならない。</p> <p>（3）資料（文書、数値データ、画像など）の保存期間は、原則として、当該論文等の発表後10年間とする。電子化データについては、メタデータの整理・管理と適切なバックアップの作成により再利用可能な形で保存する。</p> <p>ただし、管理対象データの公開・共有の有無については「研究データ管理・公開に関するQ&A」5. のとおり、受給する競争的研究費のルール等を踏まえ、研究者自身で判断するものであり、すべての研究データを公開しなければならない、という訳ではないことに留意する。</p>
3	データ管理	メタデータ	<p>管理対象データを説明するための情報から構成されるデータ。</p>
4	データ管理	データマネジメントプラン (DMP)	<p>研究プロジェクト等における研究データの取扱いを定める計画書。研究者自身が研究データの種類、研究データの保存・管理方法、並びに、公開・共有、利活用に関する方針等について計画を立て、ひとつのフォーマットに記載する。</p>
5	データ公開	GakuNin RDM	<p>国立情報学研究所 (NII) が提供する研究データ管理基盤。 https://rdm.nii.ac.jp/</p> <p>（以下、国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター (RCOS) HPより）</p> <p>GakuNin RDMは、研究者が研究データや関連資料を管理・共有するための研究データ管理サービスです。研究者は本サービスのクラウドなファイルシステムで共同研究者とデータ共有を始めることができます。研究プロジェクト中に生成されるファイルを保存して、バージョン管理やメンバー内でのアクセスコントロール、メタデータの登録や管理ができます。また、研究公正への対応として研究証跡を記録する機能を有します。RDMとは「研究データ管理 (research data management)」を意味します。</p>
6	データ公開	機関リポジトリ	<p>大学等が自機関の研究成果を収集・保存・公開し、誰もが無料で利用することのできるインターネット上の電子アーカイブのこと。</p> <p>埼玉大学学術情報リポジトリSUCRA https://sucra.repo.nii.ac.jp</p> <p>SUCRAは、国立情報学研究所 (NII) とオープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR) が共同で提供するクラウドサービス (JAIRO Cloud) を利用しており、今後GakuNin RDM との連携機能の充実が見込まれる。</p>
7	データ公開	即時オープンアクセス	<p>国の方針として、令和7 (2025) 年度から新たに公募を行う下記の競争的研究費の研究成果に対し課せられる義務。詳細は図書館Webサイト「学術論文等の即時オープンアクセス義務化について」(https://www.lib.saitama-u.ac.jp/?page_id=11175)参照。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本学術振興会 科学研究費助成事業 ・科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 (ALCA-Next、CRONOSを除く) ・日本医療研究開発機構 戦略的創造研究推進事業 ・科学技術振興機構 創発的研究支援事業